



# 第1回

## 今回の生き物は「ヒル」

# 生きもの沼へようこそ!



### やまびる伝道師 ひるちゃん

帝京科学大学出身。(株) Biotop Guild 所属。大学生で参加した屋久島のサルの調査でヤマビルと出会い、恋に落ちる。推しポイントは吸血後のまんまるボディとつぶらな腫。目標はヒルと人をつなぐこと。様々なヒルと同棲しながらヤマビルの魅力を届けるべくイベントやWS、フェス出店等で活動中。

10個のつぶらな腫



こんにちは！やまびる伝道師のひるちゃんです！みなさんは「ヒル」という生きもの、ご存知でしょうか？  
おそらく夏の山や沢、田んぼで血を吸われる光景が浮かんだり：吸われて血が止まらず、Tシャツや靴下が真っ赤になる経験をされた方もいるかもしれませんね。



お腹いっぱい



昔からやつかい者として嫌厭されがちなヒルですが、実はすべてのヒルが血を吸うわけではないんです。日本で暮らしているヒルはなんと約80種類。ほとんどは人の血を吸うことは無く、水生昆虫を食べたり、ミミズを丸のみにしたり、カメや魚のエラに寄生していたりと驚くほど多様な食性と環境の中で暮らしています。

では、人の血を吸うヒルはどれだけのいるのでしょうか？正解は、たったの3種類ほどなんです！（亜種除く）  
主なメンバーをご紹介すると、認知度・生息数共にNo.1のヤマビル、田んぼのチスイビル、まさかの鼻に寄生するハナビル。とても個性豊かな吸血ヒルですが、その中でも特におすすめたのがヤマビルです！  
ヤマビルというと真っ先に聞かれるのが『吸われる時痛くないの？』という質問。安心してください！痛くないんです！と、いうのもヤマビルは吸血する時、麻酔効果と血が固まりにくい効果のある液体（ヒルジン）を出してくれるのです。この液体のおかげで私たちは痛みを感じることもなく、かつヤマビルたちは気づかれずスムーズに血を吸うことができます。

お腹いっぱい血を吸って膨らんだヒルはまるでウリ坊。吸う前の機敏さはどこへやら…満足げにころころ丸まる姿を見せてくれます。かわいいっ！  
また、ぜひ見ていただきたいのが頭にある10個のつぶらな腫です。ものが見えているのかと思いきや、なんと明暗しか感じられません。  
この目が活躍するのは吸血後で、明暗を見極めて落ち葉の下に隠れるために使っているようです。ちなみに吸血前は感覚器で獲物を探し出しています。頭をぶんぶん振って必死に探す仕草も愛らしいものです。  
ほんの少しですが、ヒルの世界楽しんでいただけでしょうか？今年もぜひ素敵なヒルシーズンをお過ごしください！

